

人生は自分との戦い

金沢学院短大卒業式



卒業生の旅立ちを祝福した金沢学院短期大学の卒業式
= 金沢市文化ホール

式では、小堀為雄学長が言語コミュニケーション学科代表の森田典子さん、生活文化学科生活デザイン専攻代表の塚本恭子さん、同科食物栄養専攻代表の西川あやさんにそれぞれ卒業証書を手渡しました。

卒業成績の優秀者に対する学長褒賞に選ばれた十人を代表して、石原遥、高齊春菜、西野聡美の皆さんに褒賞と記念品が贈られました。

小堀学長が式辞で、「人生は自分自身との戦いである」と激励し、学校法人金沢学院大学の飛田秀一理事長が「スタートダッシュが大事」と告辞を述べました。

156人の門出に激励

金沢学院短期大学の第五十三回卒業証書授与式は三月十二日、金沢市文化ホールで行われ、卒業生百五十六人が厳しい社会へ漕ぎ出す決意を新たにしました。



答辞を読む細川さん

卒業証書を授与される森田さん



長が「スタートダッシュが大事」と告辞を述べました。



学長褒賞を受ける卒業生 = 講堂

のに対し、卒業生を代表して生活デザイン専攻の細川麻衣子さんが「豊かな心を持ち、自分自身を大切にしたい」と答辞を述べました。

金沢エクスセルホテル東急で行われた謝恩会では津田香織卒業企画委員長、小堀学長の挨拶に続いて、上山夏樹副理事長が「自分の考えを相手に正確に伝える努力をしてほしい」とはなむけの言葉を贈りました。

カニガム講師が自作曲など三曲を披露して祝福しました。卒業生らは恩師を囲んで歓談し、二年間の学園生活を振り返りました。



謝恩会で小堀学長らを囲み記念写真に収まる卒業生
= 金沢エクスセルホテル東急

学長式辞(要約)

中国のことわざに、「一目の羅(あみ)は、以つて鳥を得べからず」とあります。鳥がかかる網目は一つだが、たくさん網目があつ

スタートダッシュが大事

てこそ捕らえることができる意味です。あることを成し遂げるにはいろいろなか法や手段、周りの人の助けがいます。

皆さんそれぞれの人生観を直してください。

理事長告辞(要約)

新しい生活は最初が肝心です。アテネオリンピックの水泳平泳ぎで金メダルが期待される北島康介選手は

かつて「前半の北島」とあだ名されましたが、一貫して最初から思い切り飛び出す練習を続け、後半も強い選手になったのです。皆さんも力の出し惜しみをせず、スタートから飛び出してほしい。自分の能力を伸ばすには前向きでひたむきな心が必要です。それが身につくと自分の進むべき道や目標が見えてきます。

発行・広報室